

# 信州産学官連携 インターンシップ参加レポート



コミュニケーションの  
大切さを実感した  
3日間

松本大学

総合経営学部

観光ホスピタリティ学科 3年生 小林莉奈さん



参加企業 株式会社 まちづくり長野

■期 間 3日間

■企業業種 第三セクターの街づくり会社

■体験職種 事業推進担当

## インターンシップ実習の目的

インターンシップに参加し、まちづくり会社が実際にどのような事業を行っているかを知り、運営の仕組みや理念を深く理解する。大学では主に行政の視点から地域づくりについて学んでいるため、第三セクターのまちづくり会社として行っている中心市街地の活性化事業を知り、普段とは違う視点やフィールドで地域づくりについて考えることで、今後の研究に活かしていく。遊休不動産活用事業に実際に関わることで地域課題に対して考えるきっかけとする。

## インターンシップスケジュールとその内容

### 1日目:会社概要説明・ワークショップ準備

タウンマネージャーから具体的な事業内容や民間・経営者側視点での地域活性化についてのお話を聞くことができた。

### 2日目:ワークショップの運営補助

プランターBOXに防腐剤を塗る作業や、植物の寄せ植えを地域の参加者の方と一緒にやった。

### 3日目:地域イベント同行・記録業務

実際に案内人の方とイベント参加者の方と同行した。また、イベント内容の記録業務をインターンシップ生で分担して行った。

### 4日目:地域イベント活動報告記事作成・WEBへアップ

記録した内容を記事にして、WEBサイトに掲載していただいた。

### 5日目:地域イベント活動同行・協力者へのインタビュー

3日目同様地域イベントの同行・記録をした。事業を協力して企画を行っている会社の方に、中心市街地活性化についての考えや、各企画の仕組みを聞くため、インタビューを行った。



## インターンシップを終えて

運営の仕組みなどを聞き業務を体験することで、市街地の活性化に多くの面から貢献していることが理解できた。行政と民間と協働して事業を行うことの特長や、難しい点を関係者の方から聞くことができたり、実際に自分自身で感じることができた。他大学のインターンシップ生と協力して行う活動が多く、実習のなかで協調性や主体性が成長したとを感じる。また臨機応変な対応が求められる場面があったが、自分の強みを活かすことができたと考える。自分の研究に活かせる点や新しい発見が多く参加することができて本当に良かったと感じる。今回のインターンシップに参加したことで今までよりも、地域づくりに関わる仕事への興味が深まった。学んだこと・体験したことをよく振り返り、今後の就職先選択に活かしていきたい。

## 学生さんに聞いてみました!

### 問・信州産学官連携インターンシップの感想は?

大学の学びの中で地域づくりに対して興味があったため、今回のインターンシップに参加したが、大学とは違う視点での発見がとても多く、自分のためになる勉強ができたので本当に参加して良かったです。